

年 組 名前：

ぬいぐるみが「お泊まり」

山梨市立図書館 子ども向けに催し

【 記事を先生や家族に

読んでもらうか、

自分で読んだ後に、

教えてください 】

山梨市立図書館は30日まで、子どもたちが大切にしているぬいぐるみを「お泊まり」させるイベントを開いている。市内の幼児や小学生ら11組28人の親子が参加。初日の23日は、おはなし会を開き、ぬいぐるみと一緒に絵本の読み聞かせや手遊びを楽しんだ。その後、子どもたちは名残惜しそくにぬいぐるみを預けて帰宅した。図書館スタッフが1週間預かり、期間中はぬいぐるみが図書館で司書業務をする様子などを撮影し、交流サイト(SNS)で発信。最終日のぬいぐるみ返却時にアルバムを贈るほか、ぬいぐるみが選んだとの設定で絵本を貸し出す。久保田清禾ちゃん(4)は「寝るときもいつも一緒だからさみしい。ぬいぐるみが選んだ絵本を読むのが楽しみ」と話していた。

イベントは子どもたちに夢を与え、本や図書館に親しんでもらおうと2021年度から実施している。

〈土屋真佑子〉

(2024年6月28日付 山梨日日新聞20面)

問1 ぬいぐるみの「お泊まり」イベントを開いている場所を、教えてください。

.....

問2 初日の「おはなし会」では、なにをして楽しみましたか。

.....

問3 ぬいぐるみは、図書館スタッフが1週間預かります。スタッフはその期間中に、

なにを交流サイト(SNS)で発信しますか。

.....

教育目的以外の無断転載 複製および頒布は禁止します

Copyright © 2024 山梨日日新聞社 THE YAMANASHI NICHINICHI SHIMBUN.